



魔鏡羅王像 この王は美出尾のシンボル像で、5つの目を持った美出尾王である。そして、この王は琵琶を奏する音像一体の王で、密教界における映像の王である。以後おもしろおきを。

中島興の ビデオソフト学入門 ⑮

◎土的撮影法実践篇

——ビジネスビデオの作り方

第5回

「木・火・土・金・水」という五元素が、宇宙を構成するという古代中国の「五行説」によって、宇宙や人間を考え、そして「ビデオソフト作り」の方法論を探る、ビデオソフト学入門。今回は「土的撮影法」の第5回目、伝統主義的な土的人間のためのビデオソフト作り「ツナリオ法によるビジネスビデオの作り方」を考察する。

ツナリオ実践術

⑪

創造力のプロセスの土的分析法

今回もビデオにおける土成法から観た「創造的思考」について考えてみよう。M・ウエルトハイマーは創造的過程は構造的に不安定なもの、または不満足な状況(P1)から、解決を導く状況(P2)へ移動することが創造力のプロセスだと語った。このP1からP2へとプロセスを通過するところで、ギャップが充足されると考えた。そのために創造的思考には、始めに「集合・組織・構造化」があるべきだと述べたのである。

しかし、川喜田二郎氏は、創造性開発の段階として、

- ①問題の提起
- ②情報のつめ

- ③整理・分類・保存
- ④要約化
- ⑤統合化
- ⑥副産物の処理
- ⑦情勢判断
- ⑧決断
- ⑨構造計画
- ⑩手順の計画
- ⑪実施
- ⑫結果

と言うプロセスをあげている。次にS・ロスナーとL・E・アプトの考えた創造思考の分析を、ビデオ土成法におきかえて「ビデオ的創造思考」を考えてみよう。

ビデオはさわめて精神分析的なメカニズムを持ったメディアだと私は思う。ここでそのビデオ表現の奥の深さについて少し考えてみよう。ビデオは感じた時が「撮る」時だとい

感情によるビデオ表現
気分によるビデオ表現
刺激によるビデオ表現
誘因と制約とのバランスによるビデオ表現
自己表現のビデオ
自我の欲求のためのビデオ表現
仕事の方法のためのビデオ表現
生活歴のビデオ表現

意識的ビデオ表現
前意識的ビデオ表現
無意識的ビデオ表現

段階

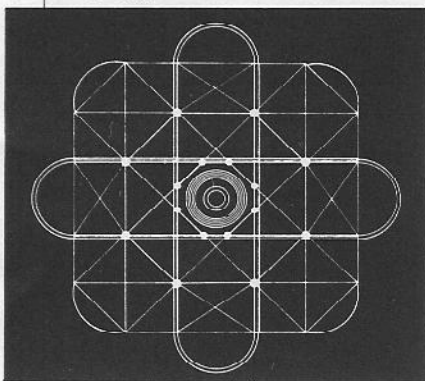
準備

潜伏

発見

遂行

確認



われるが、その感じた時を分類してみると、

感情——のたかぶり、これがビデオ撮影チャンス

気分——気分で撮る。これがビデオ撮影チャンス

刺激——この瞬間がビデオ撮影チャンス

誘因——ある作用を引き起こす時が撮影チャンス

自己——自己の表現、自分を撮っておく。これが最大のビデオ撮影チャンス

自我——自我のめざめる時、この時期がビデオ撮影チャンス

仕事——仕事に利用する。自分の仕事をビデオでみつめる

生活——生活を撮る。これがビデオ撮影チャンス

●
意識的ビデオ表現——映画的・テレビ的に撮る

前意識的ビデオ表現——無関係・無神経に他人に見せることなど考えないで、関係なく撮る

無意識的ビデオ表現——サーチャメラによる撮影表現

C・Gユングは特に創造性のプロセスについて美的イメージをあげ、創造過程は少なくとも芸術に関わる限り、心理的なものとイメージとの双方の形式をとって現われるといっている。心理的な形式のものとしては、創造的作品の内容、それが人間の意識の領域からひきだされるものであるとしている。もうひとつのイメージに関しては、その集合を「集合的無意識」と呼んでいる。そして創造の本質は無意識のなかにあり、プロセスを発展させ、完成させた芸

術作品の仕上げのなかにあると言っている。

このユングの言う集合的無意識に人類は永遠の象徴を見出し、その象徴のなかに創造性のプロセスを発見しようとしている。ユングは『心理学と文学』のなかで無意識にはふたつの領域、つまり個人的無意識と集合的無意識があると言っている。ビデオ流におきかえてみると「個人的ビデオ」と「集合的ビデオ」である。映画やテレビを集合的映像と見ればビデオは個人的映像に属するわけである。

ここで言う個人的無意識とは、考えられ、感じられたもの、つまり知

覚を指し、密教で言う五味五感である。これに反して集合的無意識は決して意識化されることのない中核からのインフォメーション、無意識の内に絶対に意識化されることのない二重構造から成っており、この構造は永遠に理解されないものである。

ビデオ流にいえば映画的概念でビデオを見てはいけなし、またビデオ的概念で映画を見てはいけなしということである。このふたつは常に一体でありながらその構造はまったく違っており、違った構造が一体化していることが無意識の内に意識化されないという前述の二重構造となっているわけである。

ツナリオ実践術

12

ビデオイメージの土的分類

イメージは内的現実の基礎を形成する、コンピューターのチップ(IC)みたいなものである。イメージは心理学的にも大きな問題で、思考・情動・知覚・描画行為におけるひとつの「協調運動」などに関連を持

つ。そしてさらに鮮明度・趣意とも相互に関連を持つ。J・ホロウィッツはイメージを次のように分類した。

A・イメージの鮮明度

- ①幻覚
- ②偽幻覚

③思考イメージ

④無意識イメージ

B・イメージの意味

- ①入眠時イメージ
- ②夢イメージ
- ③サイケデリック・イメージ

④フラッシュバック

⑤夢のひらめき

C・知覚と相互関連

①錯覚

②知覚のゆがみ

③共感覚

④既視体験

⑤陰性幻覚

⑥残像

D・内容

①記憶イメージ（直視像）

②空想イメージ

③身体イメージ

④幻影枝

⑤想像イメージ

⑥数字や図形

以上の形式を土成法の「眼」で再構築してみると、次のようになる。

A・ビデオイメージの鮮明度

①ビデオを撮り始めて感じる幻覚

②ビデオ撮影時の偽幻覚

③ビデオ撮りにいざこ思考イメージ

④ビデオを撮りながら思う無意識イメージ

B・ビデオイマジネーションの趣意

①ビデオを撮り始めて感じる入眼時イメージ

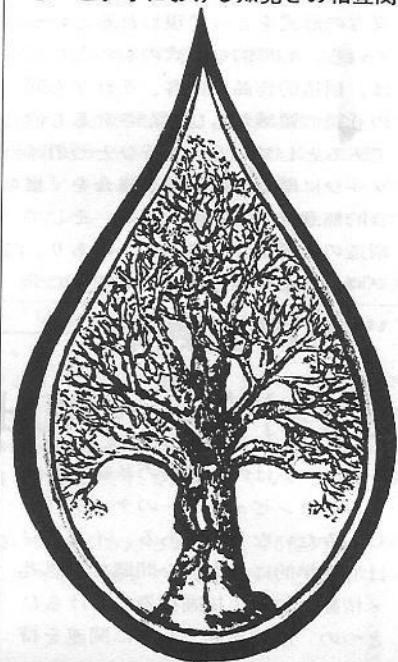
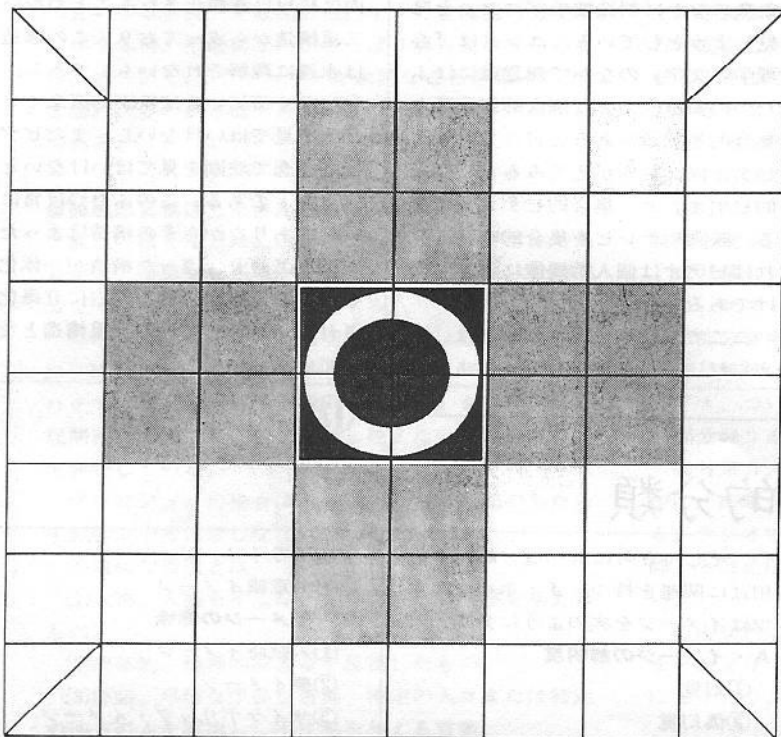
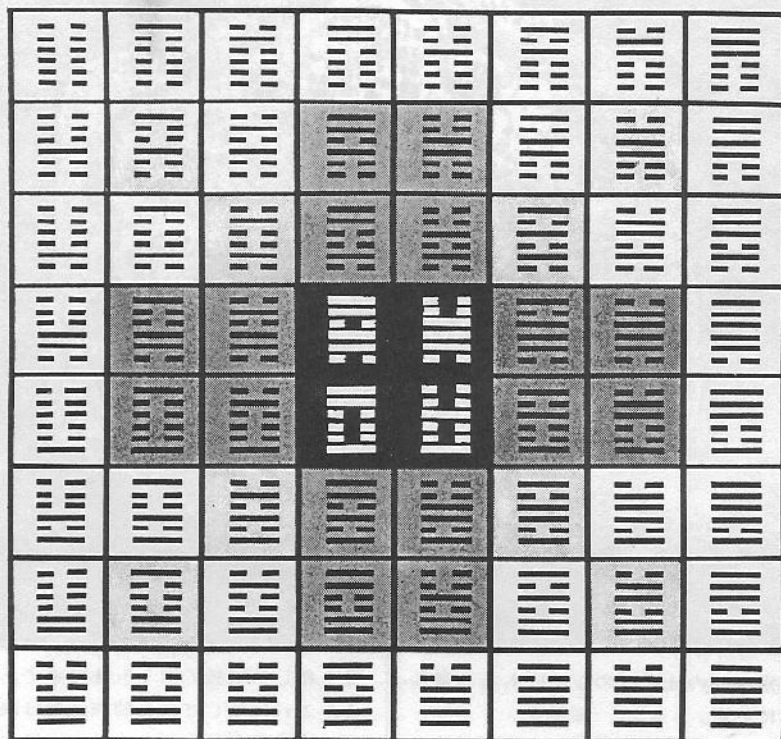
②ビデオを撮り始めてから感じられる夢イメージ、夢摩イメージ

③サイケデリック・ビデオイメージ

④ビデオによる編集テクニックを体験した後で起こる「ビデオフラッシュバック・イメージ」

⑤ビデオ体験後の夢のひらめき

C・ビデオにおける知覚との相互関



事象項目	通常の見え方	通常の主観的顕在化	客観的顕在化	現実の感覚
幻覚	大 ↑	超心理的 ↑	内的心理 ↑	本当らしく見える ↑
偽幻覚	大～中	超心理的 または 内的心理 ↑		真実でなにかのように見える (あたかも真実であるかのように行なわ れるかもしれない)
思考イメージ	中～小	内的心理 ↑		記憶とか想像の類のようなもの
無意識イメージ	なし ↓	なし	抑圧された 記憶の蓄積	存在は否定される

連

- ①錯覚の再認識
- ②ビデオ体験後の知覚のゆがみの再利用認識
- ③ビデオ体験による共感覚
- ④ビデオ体験をしてしまったと言
うぬくいきれない既視体験
- ⑤ビデオ体験後に起きる陰性幻覚
(ネクラ感覚)、陽性幻覚(ネアカ
感覚)
- ⑥ビデオ体験を通して起きる残像。
体験前と体験後に起きる映像現象
の違い

D・内容

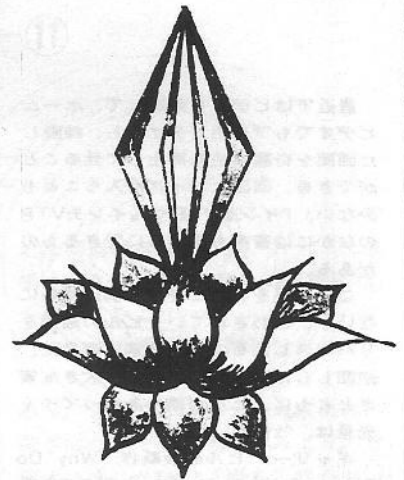
- ①ビデオ体験にともなう記憶イメ
ージの問題。ビデオ体験後の直視
力とその直視力にもなったイメ
ージ像(直視像)の問題
- ②ビデオ体験を経て空想するイメ
ージの力
- ③ビデオ体験しながら身体で感じ
る身体イメージ(ビデオ身体図像
体験)
- ④ビデオ体験にともなう幻影枝
- ⑤ビデオ体験後に起こる想像力と
想像イメージ
- ⑥ビデオ体験後に感じる数字と図
形

以上、各種のニューイメージがビ
デオ体験後の新しい形式として誕生
するわけであるが、これらは人の性
格、生活・日常や頭脳のラチュード
によって多次元、多様化を持っており、
各人各様の意識的・無意識的体
験によって自ずから違ってくる。

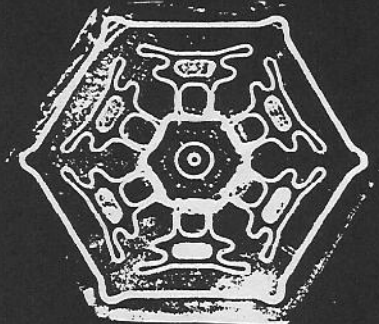
そこで筆者は、読者の皆さんにま
ずビデオ体験後に段階として、ひと
つ問題が発生することに注目して
もらいたいのである。それは言語表
出の問題である。私達は長期にわたり、
イメージの表出を言語の基盤の上で
とらえ、その豊富な内容を伝達して
きた。映像表出という記号の連想の
基盤上では伝達し得なかったの
である。しかし人間の頭脳にとっては、
言語表出という伝達手段によるイメ
ージ力より、ビデオ体験後に表出さ
れる記号(映像)連想法の方がはる
かに心理診断において効果大きい、
といってもいいだろう。つまりビデ
オ体験後の人の描写行為は、言語を
媒介して行なったイメージプロセ
スより、はるかに内的世界に向けて
心理的統合を含んでいるのである。

つまりビデオはツナリオ法(土成
法)的に言えば、かなり哲学性と芸
術原理を持ったメディアといえるの
である。

話が難しくなってしまったが、確
かにビデオの断面をひとつの方向で
見てみるときわめて心理学的で哲学
・芸術的なメディアであるという部
分がある。アーティストがビデオア
ートにこだわり続け、21世紀に向け
てビデオの在り方を新しい断面から
みつめるべきだと提案しているのも、
ビデオが芸術性を含んでいるから
である。フランスやアメリカの哲学者
はビデオこそが次なる世紀の芸術
であると言っている。筆者もビデオを



心理・哲学・芸術・精神の内部世界
でこだわり続ける限り、永遠にビデ
オはアートとして生き続けると思う。
しかしコンピューターの出現がビデ
オに大きく影響を与え始めているの
も事実である。



Snow crystal.